

令和 4 年度 第 1 回山北町総合計画審議会 議事録

- 日 時 令和 5 年 3 月 22 日（水）15 時 00 分から 16 時 00 分まで
- 場 所 山北町役場 4 階 401 会議室
- 出席者 [委 員] 前田会長、高橋会長職務代理者、佐藤（直）委員、高杉委員、
佐藤（精）委員、松澤委員、福岡委員、鳥海委員、荻野委員、山崎委員、
有泉委員、坂本委員、池田委員、曾我委員、石田委員
[理事者] 湯川町長
[事務局] 参事兼企画総務課長、企画総務課担当職員
- 欠席者 [委 員] 瀬戸委員
- 配付資料 ・次 第
・資料 1 山北町総合計画審議会規則
・資料 2 諮問書（写し）
・資料 3 第 6 次総合計画策定方針
・資料 4 策定スケジュール

○会議概要

1 開会

2 町長あいさつ

本日は、大変お忙しい中、山北町総合計画審議会にご出席いただき誠にありがとうございます。また、本日ご出席の皆様におかれましては、公私ともお忙しい中、本審議会の委員を快くお引き受けくださりまして深く感謝申し上げます。さて、本町では平成 26 年に「山北町第 5 次総合計画」を策定し、「みんなでつくる 魅力あふれる元気なまち やまきた」を町の将来像に掲げ、各種施策を推進するとともに、平成 31 年には前期基本計画 5 か年の検証・見直しを行い、「山北町第 5 次総合計画 後期基本計画」を策定しさらなる政策強化を図ってきたところです。しかしながら、人口減少・少子高齢化はもとより、突如として世界中をパンデミックに巻き込んだ新型コロナウイルス感染症や、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻など、社会経済情勢を大きく揺るがす出来事が起り、本町においても多大な影響を受けております。このような中、令和 6 年度からスタートする新たな総合計画の策定にあたっては、変化が激しく将来の見通しが難しい中においても、柔軟かつ機動的に対応していくことが求められることから、そのような視点を取り入れながら策定を進める必要があると考えております。また、SDGs やデジタル化、脱炭素といった新たな観点も取り入れた中で本町が未来に向けて進むことのできるよう、委員の皆様には忌憚のないご意見やご提言いただき、より良い計画を作り上げていきたいと考えておりますので、皆様の一層のご協力を賜りますようよろしくお願い申しあげ、簡単ではございますが開会のあいさつとさせていただきます。

3 委嘱状交付

4 委員自己紹介

5 会長の選出（資料1により事務局説明）

- ・委員の互選により、前田委員が選出された。

（前田会長）

山北町においては、数年前に都市計画審議会でお世話になりました。また、地域づくり組織運営委員会にも関わらせていただいておりますが、コロナ禍ということもあり、直接議論に参加することが出来ず、書面での参加という形となってしまいました。先ほど自己紹介の中で郷土愛というお話がありましたが、山北町の皆さんの地元を愛する思いが伝わってきました。総合計画は自治体において一番根幹となる計画であり、10年先を見据えた大変重要な計画を策定していくことになりますので、大役ではありますが、皆様方のご意見をうまく調整できればと思いますので、よろしくお願いいたします。

6 会長職務代理者の指定（資料1により事務局説明）

- ・会長より、高橋委員を指定した。

（高橋会長職務代理者）

私は連合自治会長会の会長を務めておりますが、3月末で退任することが決まっており、4月からは新しい方が連合自治会長会の会長に就任されますので、引き続きよろしくお願いいたします。

7 山北町第6次総合計画の諮問（資料2）

- ・町長から諮問書を読み上げ、会長へ手渡された。

8 議題

（1）会議の公開について（事務局より説明）

- ・町ホームページに会議資料、名簿、議事録を公開する。

会 長： 傍聴を希望する方への対応は。

事務局： 会議室のスペースの問題もあり、傍聴は予定していない。

（2）第6次総合計画策定方針について（資料3により事務局説明）

（3）策定スケジュールについて（資料4により事務局説明）

委 員： 町民ワークショップの開催についてだが、山北町は地域性があり、それらの意見をどのように反映していくかが重要と考える。人数的に20名でよいか。

事務局： 会場の都合や新型コロナウイルス感染症も考慮し、密にならないよう実施したいと考えている。方法については、SDGsの考え方に基づいて山北町にとって何を行っていくべきかざっくばらんに意見を出していただき、それらを持ち寄った中で最終的に山北町として50年後どのような町にしていきたいかといった具体的な意見交換ができるようなワークショップにしていきたいと考えている。

委 員： 町全体の意見を持ち寄っていただくということで理解した。

委 員： 計画の評価は第5次計画全体を評価するのか、それとも後期計画のみを評価するのか。

事務局： 後期計画を策定する際に前期計画の検証を行っており、今回は後期計画の検証を行う。

委 員： 評価の結果については審議会で示されると思うが、町民へはフィードバックされるのか。

- 事務局： 直接的なフィードバックは考えていないが、審議会における資料又は議事録を公開することでご意見いただくことも想定している。最終的にはパブリックコメントも実施して意見を伺っていききたい。
- 委員： パブリックコメントは来年になると思うが、その間で、町民参加の機会としては座談会がそれにあたるのか。
- 事務局： 例年であれば10月から11月にかけて座談会を実施している。担当課とも連携を図り、調整していききたいと考えている。
- 委員： 現在のアンケートの回収率が42.2%とのことだが、何パーセント回収できれば妥当性があると考えられるのか。
- 会長： 一般的に社会調査などでは回収率は非常に低く、40%回収できれば十分と考える研究者が多い。もちろん、回収率は高ければ高いほうが精度の高まりがよいと考える。督促を行っている自治体もある。
- 事務局： 平成24年の時は51.7%、平成30年の時は43.0%の回収率であった。今回は40%を想定していたが、概ね予定通りの回収率になっていると考えている。
- 委員： 督促を行ってもよいのではないか。
- 事務局： 無記名で依頼しているため、督促を行うのであれば送付者全員に行うこととなり、予算も無いため督促を行う予定はない。
- 委員： 回収の結果としては、年代別の集計は出るのか。
- 事務局： 現在集計中であり、最終的にはお示しする。
- 会長： 先ほど委員から地域性の話があったが、地域別についても集計されるのか。
- 事務局： 質問項目としてお聞きしているので、お示しする。
- 委員： 座談会とは「町長と語ろうまちづくり」のことだと思うが、現在、地区別にテーマを決めて行っているが、今までのやり方で行うのか、それとも総合計画に特化して行うのか。
- 事務局： 座談会の担当課が地域防災課となるため、座談会の中で、総合計画をテーマにした時間を設定できるかどうか相談していききたい。
- 委員： 現行計画の検証評価は進んでいるのか。
- 事務局： 現在進めているところである。
- 委員： 基本構想は3月から検討していくスケジュールになっているが、現行計画の進捗状況を把握しておかないと難しい。座談会はテーマを絞って行われているため、町民は町の課題について分からないことが多い。総合計画の進捗状況は重要だと思っている。
- 事務局： 現計画の期間が令和5年度までであり、あと1年間残っているが、令和4年度に検証を行っている状況である。また、町民の方は総合計画の一部しか承知されていない状況もあると思うため、地域課題について広く意見集約できるよう努めていききたいと考えている。
- 委員： 町民の声を多く拾い構想に入れていく中で、役場の取組み状況の把握が非常に大事になり、それを引き継いで第6次計画に反映していかなければならないと思う。山北駅商店街などは前期計画にも後期計画にも書いてあるが進んでいない。町民の声を拾っていくには、座談会はテーマを絞らないほうが効果的だと思う。今後、災害対策などは町の面積が広いので大変だと思う。第5期計画の内容の検証が大事になるのではないか。
- 事務局： 基本構想はまず骨子を検討するところから始める。並行して現行計画の評価検証は役場

内で順次進めていく。それらの結果を審議会でお示しし、ご意見をいただきたいと考えている。そういった中で、全ての内容を残していくのではなく、更に強く書き込む、又は削除してくといった検討を行い、計画を作り上げていきたい。

会 長： 検証の重要性を十分認識して進めていただきたい。令和5年度分まで待つて検証しているは第6次計画のスタートには間に合わないので、可能な限り検証したものを提示していただくことでよろしいか。

委 員： 令和4年度末時点までの検証でも構わないと思う。まったく手つかずのものを後1年で終わらすことはありえない。検証結果で想定できると思う。そういうものを第6次計画ではどうするかが検討できると思う。

会 長： 今回は全体の内容とスケジュールの確認だったが、今回は様々な内容のものが出てくると思うので、活発なご意見をいただきたい。

(4) その他

委 員： 会議の資料等は事前に示されるのか。それとも会議上で初めて示されるものなのか。

事務局： 会議の内容や資料については、可能な限り事前にお渡ししたい。

委 員： 次回までに進捗状況の資料は早めに送ってもらいたい。前もってもらえれば内容を把握してから参加できると思う。

9. その他（事務局説明）

- ・次回会議については5月中下旬を予定している。具体的な日程が決定次第通知させていただく。

以 上